外線電話対応の委託に伴うお願い

この度、当院では電話対応におけるさらなる品質向上と、より円滑な医療提供体制の構築を目的として 一部の外線電話応対業務を専門の電話応対サービス会社へ施行委託することとなりました。 それに際し、皆さま方におかれましては、お電話頂く内容について具体的なご要件をお伝え頂く必要があります。 具体的には、次のとおりです。

これまで：「処方箋内容の件で、確認したい」
これから：「患者(氏名)さんの処方箋内容の件で、確認したい」

なお、個人情報や通話内容の取り扱いについては、当院のプライバシーポリシーに基づき 委託先とも厳正に契約を交わし、適切な管理を徹底しております。

今後も皆さまにとって安心・安全な在宅医療の提供を目指して参りますので 引き続きご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

まずは地域支援室にご相談ください

- 在宅でどんなことができるの？
- 費用はどれくらいかかるの？
- 病院から自宅に連れて帰りたいけど、どうしたらいいの？



看護師 横井はるか　　看護師 中島由加

在宅療養に関わる様々な疑問やお悩みに経験豊富なスタッフがお答えします。

当院へのご依頼方法

① みどり訪問クリニックに電話
052-680-7030に電話してください。事務が患者さんの情報を簡単にお伺いします。

② 患者依頼シートの記入とFAX
QRコードから患者依頼シートをダウンロードしていただき、記入後FAXをお願いします。(ページ下部にございます。)

③ 担当者から連絡します
患者依頼シートを確認後、当院の地域連携室から折り返しご連絡させていただきます。

みどり訪問クリニック
愛知県名古屋市緑区篭山1-109-1シティコーポ小坂南102号

お問い合わせ
052-680-7030
【HP】https://midori-hel.net/
【FAX】050-3737-0026

SNSもチェック！
Facebook みどり訪問クリニック
Instagram @midorihcl
LINE ID：@169wahvx

みどり訪問クリニック広報誌
日本初の往診犬 ほーむくんです！
Home On
12月号
2026
令和8年
Vol.11



在宅RESCUEコースを開催しました！

CONTENTS／目次

P2 連載 在宅ならではおすすめグッズ
P3 連載 みどりくんの在宅医療コトバンク
P4 特集 在宅RESCUEコースを開催！
P6 連載 みどクリ図書館
P6 連載 みどクリ栄養部
P7 連載 スタッフ紹介のコーナー
P7 連載 MIDORI COLUMM
P8 お知らせ MIDORI INFORMATION

保存版

スタッフの知恵を伝授！

連載第11回

在宅ならではおすすめグッズ

「こんな時困ったなあ」
「便利な物ないのかな？」
訪問であるあるの悩みに
当院スタッフが
実際に使ってみて
おすすめできるグッズを
紹介します！





メリノウールのインナー

チクチクしなくて暖かい！

冬の訪問をちょっと快適に！ 防寒のカギは「インナー」

寒い季節の訪問で、意外と大切なのが「何を着るか」よりも「何を肌に着るか」です。防寒用インナーといえば、まずユニクロの「ヒートテック」を思い浮かべる方も多いと思います。もちろん便利なアイテムですが、訪問診療・訪問看護・介護など、外と室内を何度も行き来する仕事でぜひ試してほしいのが、**メリノウールのインナー**です。おすすめの理由は3つあります。

① 汗をかいても、暖かさが続きやすい

羊毛の繊維は、細かな空気をたくさん抱え込む構造になっています。そのため、汗をかいてインナーが湿っても、保温性が比較的落ちにくいのが特徴です。「訪問先では暖かくて汗をかく→外に出たら急に寒い」という冬の訪問あるある。この繰り返しには、メリノウールの強みがかなり活きます。

② においが気になりにくい

メリノウールは、ウール特有の性質として防臭性にも優れています。毎日のように着用するインナーだからこそ、これはうれしいポイント。訪問の仕事では、患者さんやご家族の生活空間にお邪魔する機会も多いので、「自分では気づきにくいにおい」への対策としても頼りになります。

③ 意外とチクチクしない

「ウールって、チクチクするんじゃない？」と思う方もいるかもしれません。メリノウールは一般的なウールよりも繊維が細く、肌触りがやわらかいのが特徴です。肌に直接着ても、思ったほどチクチクしないものが多く、インナーとして使いやすい素材です。

コスパ重視なら、ワークマン！

そんなメリノウールを試してみたい方に、まずチェックしてほしいのがワークマンの「メリノウール100ミドルウェイト長袖クルーネック」。なんとメリノウール100%。それでいて価格が比較的手頃で、「1900円でウール100%？」と驚くようなコストパフォーマンスです。毎日の訪問でガシガシ使うなら、かなり有力な選択肢だと思います。もちろん、女性用もあります。

もう少し暖かさを求めるなら、モンベル

「とにかく寒いのが苦手！」という方や、もう少し本格的な防寒をしたい方には、モンベルの「スーパーメリノウール」もおすすめです。
薄手から厚手までラインナップがあり、特に寒冷地や真冬の屋外で活躍するエクスペディションまで用意されています。こちらも、女性用があります。

訪問の仕事は、車から降りて外を歩いたり、玄関先で待ったり、意外と身体が冷えるもの。「アウターを厚くする」だけでなく、「インナーを見直す」。今年の冬は、そんな防寒対策を試してみてはいかがでしょうか。

みどり訪問クリニック スタッフ紹介のコーナー

みどり訪問クリニックの
スタッフ大公開！

診察時に出会うスタッフは真面目で仕事モード。しかしそんなスタッフも十人十色で個性的なんです！



看護師

二瓶 千秋さん

好きな食べ物は
スイカと鰹のたたき
とサバのバッテラ

診療アシスタント部門の看護師として勤めて11年目になります。 たくさんの患者様の生活に関わり患者さんやご家族から学ぶことも多く、日々自分にできることは何かを考えるきっかけとなっています。 趣味は美味しいものを食べることとパン作り。無心でパン生地を捏ね、台に叩きつけてストレス発散しています^^; これからやりたいことは47都道府県を訪ねること、もう一度バイクでツーリングを楽しむこと。（車のB級ライセンスも持っています！）そのためにもまずは健康第一で毎日を楽しんでいきたいです。

院内外のぷち情報 MIDORI COLUMN

「人生100年これからゲーム」をやってきました！



自分が大切にしていることも、あらためて言葉にすると、新たな気づきにつながることがあります。今回の体験が、ご家族や身近な方とこれからの暮らしや希望について話す「人生会議」のきっかけになればうれしく思います。

レインボーさろんで「人生100年これからゲーム」を行いました。カードをきっかけに、これからの人生で大切にしたいことや、ご自身の思いを語り合いました。

「このカードは買えるの？」という質問も多く寄せられ、ゲームへの関心の高さがうかがえました。



特集

みんなで学ぼう！在宅の「もしも」への備え

RESCUEコースを開催しました！

藤田医科大学病院で、当院の大野医師がインストラクターを担当し、在宅医療・介護にかかわる多職種が急変時の初期対応を学ぶ「在宅RESCUEコース」を開催しました。

実践的な研修で「急変時の対応」を学ぼう！

在宅RESCUEコースってなに？

在宅RESCUEコースは、在宅での急変時の初期対応を3時間で学ぶ**実践的な研修**です。医療・介護に関わる幅広い職種を対象に、事前の動画学習と少人数での演習を通じて、**発熱・意識障害・心停止への対応を身につけます**。多職種が一緒に学ぶことで、地域の対応力向上と連携の強化を目指しています。



インストラクターの大野医師に聞きました！

コースを始めたきっかけ



Instagram

在宅レスキューコースの公式アカウントはこちら

きっかけは、京都府立医科大学（現・順天堂大学）の宮本雄気先生から**「職種を問わず一緒に学べる勉強会がある」**とご紹介いただいたことです。実際に参加してみると、在宅医療に関わる職種であれば誰でも、同じ場で急変対応を学べる。その仕組みがとても面白く、ぜひ愛知県でも広めたいと思い、ディレクターの資格を取得しました。

開催にあたって大切にしたのは、**愛知県で継続して開催できる体制をつくること**です。最初から大きく広げるのではなく、まずはインストラクターを目指してくれる仲間を集め、優先的に受講してもらいました。そのときの受講者が、現在のインストラクターとしてコースを支えてくれています。 当日の運営では、**参加してくださった方に「本当に来てよかった」と思っていただけるよう**心がけています。日頃の悩みを持ち寄り、普段一緒に働いている顔なじみの方々とあらためて学び直す。その時間が有意義なものになるよう、一人ひとりへのフィードバックと、みんなで学び合える雰囲気づくりを大切にしています。 こうした積み重ねから少しずつ口コミで広がり、現在はコース専用のSNSも開設して、より多くの方に知っていただけるよう取り組んでいます。

なんといっても、**どんな職種の方でも参加できるのがこの勉強会の一番の魅力**です。在宅医療は、一つの職種だけで成り立つものではありません。さまざまな職種が一同に会して急変対応に取り組む姿は、まさに在宅医療の現場そのものを体現しているようで、とても印象に残りました。 コースでは窒息への対応も学びます。**受講後、実際に窒息した患者さんに遭遇し、学んだ対応で救命できたというお話を伺ったときには、「本当にやってよかった」と心から感じました**。また、当院の管理栄養士からも「栄養指導でご自宅を訪問した際に、レスキューコースで学んだことが役に立った」という声が届いています。そして何より、**普段臨床で顔を合わせている方々と、和気あいあいと一緒に学べること自体が、とても楽しいひとときです**。



参加してみませんか！今後の開催について

定期開催を予定！

今後は年4回の定期開催を予定しています



現在は募集開始から1週間ほどで定員が埋まる状況です。まずは名古屋市緑区と豊明市を中心に開催の輪を広げていきたいと考えています。

出張開催も検討中

今後は出張での開催も検討しています



施設などの組織からご依頼いただければ、こちらから伺う出張開催も検討しています。ご興味のある方は、ぜひお気軽にご連絡ください。

さらに興味を持った方へ

次はあなたがインストラクターに



「この学びを地域に広めたい」と思ってくださった方には、ぜひインストラクターも目指していただきたいと思います。

実際に参加したスタッフの声



アシスタント

「わかったつもり」に気づけました



●印象に残った演習・気づき

誤嚥を想定した演習で、人形を用いてハイムリック法を実際に行ったことが印象に残っています。握りこぶしの位置や圧迫の方法は理解しているつもりでしたが、いざ実践してみると、コツを教えていただくまでうまく異物を取り除くことができませんでした。**「わかったつもり」になっていた部分に気づくことができ、大変勉強になりました**。

●日々の業務にどう生かす？

急変はいつどこで起こるかわかりません。その場で迅速に判断し、正しい初期対応ができるようになるには、**経験を積み重ねていくことが大切だと感じています**。今回のトレーニングで学んだことは、実際にそのような場面に遭遇したときにきっと生かされると思います。普段は医師と一緒に訪問していますが、指示を待つだけでなく、自ら考えて先に動ける対応力につなげていきたいと思います。

管理栄養士

実際に体験することが大切だと実感しました

●印象に残った演習・気づき

窒息時の対応について、実践的かつ体系的に学ぶことができました。事前の動画研修だけでは想定どおりに動くことが難しく、**実際に体験する演習の重要性を改めて実感しました**。

●日々の業務にどう生かす？

管理栄養士は一人で訪問することも多く、急変時の対応や多職種との連携が重要です。**受講2週間後の訪問時に緊急対応が必要な場面に遭遇し、今回の学びを生かすことができました**。



オススメ図書紹介！

みどクリ図書館 vol. 9



オススメします！



院長
姜琪鎬

日々の訪問看護やケアマネジメントの現場で、患者さんやご家族との話し合いがうまく噛み合わず、「どう支援すればよいのだろう」と悩むことはありませんか？当院の広報誌から、地域の看護職・介護職の皆様に、明日からの実践や多職種連携にすぐ役立つおすすめの一冊をご紹介します。

本書『意思決定支援こんなときどうする！？』（水野慎大 著／三輪書店）は、東京でユニークな地域密着型医療を展開している「おうちにかえろう。病院」の病院長である著者が、急性期から慢性期、在宅医療まで自ら経験した19のリアルなトラブル・失敗事例を包み隠さず共有し、その解決策を論理的に紐解いた実践的ガイドブックです。

「病状を否認する患者」「自宅退院を巡り意見が対立する家族」「病院担当者と在宅支援者で方針が分かれたケース」など、現場で誰もが直面する「あるある」な場面が豊富に取り上げられています。著者は、医療者が「医学的な正しさ」で相手を説得しようとする姿勢が、かえって感情的な対立を生んでしまう構造を分かりやすく指摘しています。

解決の糸口となるのは、患者・家族・多職種の間で見ている「時間軸（過去・現在・未来）」や「話し合いのテーマ」を整理して目線を揃えるアプローチです。意思決定の答えは常に「本人の中」にあります。その人が歩んできた歴史（過去）に耳を傾け、大切にしてきた価値観を汲み取ることで、単なる説得ではなく「本人や家族が心から納得できる未来」を共に描くためのコミュニケーションの型が身につきます。

各事例は「医療者のもやもやポイント」「すれ違いの理由」「解決への糸口」と構造化されており、忙しい業務の合間でも読みやすく、日常のケアプラン作成や家族支援、退院調整の場面で直ちに活用できます。患者さんの「自分らしい生き方」を地域で支える心強いパートナーとして、ぜひステーションやデスクに備えておきたい必読の書です。

管理栄養士監修！

#みどクリ栄養部 vol. 9

寒さに負けない体づくり！ ビタミンCで免疫力をサポート！

11月は気温が下がり寒暖差や乾燥で体調を崩しやすくなるため、栄養バランスのよい食事を心がけましょう！
特にビタミンCは、皮膚や粘膜の健康を保ち、体の免疫機能を正常に働かせるために大切な栄養素です。また、抗酸化作用もあり、健康な体づくりをサポートしてくれます。

ブロッコリーやパプリカ、みかんなど、ビタミンCを多く含む旬の野菜や果物を取り入れて、寒い冬に備えましょう！

ブロッコリーとツナのごま和え



約115kcal　約5分

材料（２人前）

・ブロッコリー：150g
・ツナ缶：1缶
・すりごま：大さじ1
・醤油：小さじ1
・砂糖：小さじ1

作り方

①ブロッコリーを小房に分け、食べやすい大きさに切る
②耐熱容器に入れ、少量の水を加えてラップをし、電子レンジ（600W）で2分～2分30秒程で加熱する
③水気を切り、ツナ、すりごま、しょうゆ、砂糖を加えて和える

わかりやすく解説
みどりくんの在宅医療コトバンク

患者さん・利用者の「困った行動」のヒントに！

看護・介護に活かす行動経済学

「何度説明しても服薬や生活改善を守ってもらえない」「重要性を丁寧に説明したのに動いてくれない」と、日々の現場でもどかしさや無力感を感じたことはありませんか？ 私たちはつい「本人の意思が弱い」「自覚が足りない」と捉えてしまいがちですが、実はここに行動経済学の視点が役立ちます。

行動経済学とは？ 人間は「予想通りに不合理」

従来の医療やケアでは「正しく情報を伝えれば人は合理的に判断する」と考えられてきました。しかし現実の人間は、感情や目先の誘惑に流され、後回しにしてしまう「心の癖（バイアス）」を持っています。行動経済学は、この人間特有の非合理な行動を「予測可能な心の癖」として捉える学問です。

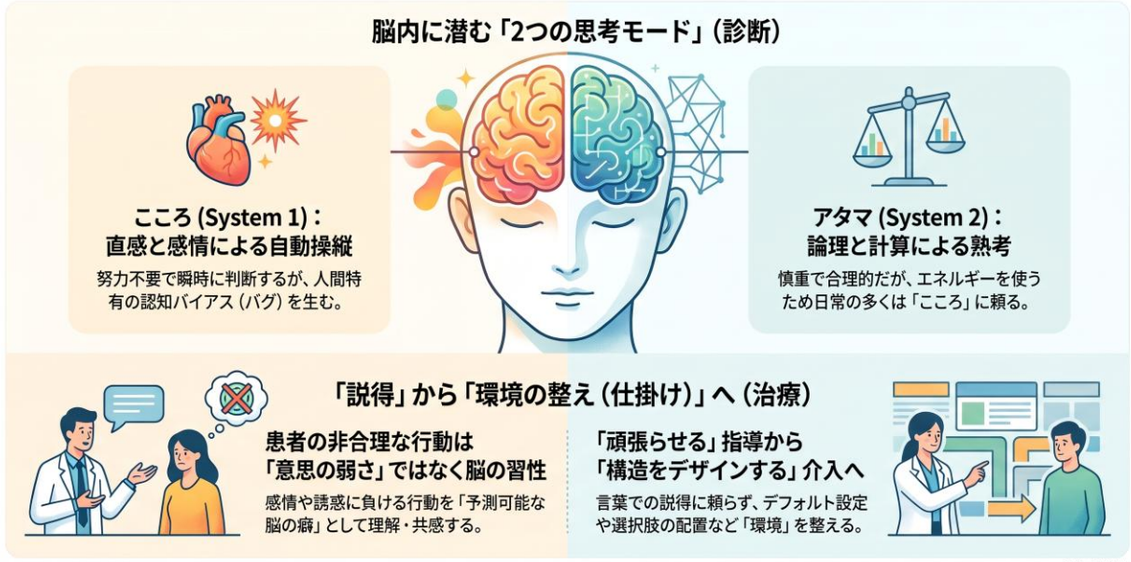
「こころ・アタマ・仕掛け」の3つの視点



行動変容をサポートするには、3つの視点が重要です。

- こころ：直感や感情、無意識の反応（System 1）
- アタマ：論理的で冷静な熟考（System 2）
- 仕掛け：個人の意志だけに頼らず、自然と良い行動を選べる「環境や構造」のデザイン（ナッジ）

医療行動経済学：患者の「不合理」を理解し行動を変えるアプローチ



「教える」から「環境を整える」へ

患者さんや利用者が行動できないのは「やる気がない」からではなく、行動に伴う心理的・物理的負担（コスト）が大きいからです。

単に「頑張りましょう」と説得する（教える）のではなく、薬を忘れにくい場所に配置するなど「環境を整える」工夫が効果を発揮します。うまくいかない際も「人が悪い」と責めるのではなく、「構造」を診断して見直す視点が大切です。日々の看護・介護で悩んだとき、行動経済学のレンズを通して見つめ直すことで、ご本人にとってもスタッフにとっても負担の少ない、優しいケアの仕組みを生み出すことができます。